



2024年2月8日
一般社団法人日本分析機器工業会
早稲田大学

一般社団法人日本分析機器工業会と早稲田大学との 連携と協力に関する包括協定書を締結

一般社団法人日本分析機器工業会(JAIMA、所在地：〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 2-5-16、会長：足立正之／株式会社堀場製作所 代表取締役社長)は、早稲田大学（〒169-8050 東京都新宿区戸塚町 1-104）との包括協定書を2024年2月1日付けで締結いたしました。

JAIMA は、2018年から早稲田大学大学院創造理工学研究科との協力のもと、早稲田大学で協力講座「素材機器分析評価」（創造理工学部との合併科目）を開講し、分析機器技術人材の育成に貢献しています。これまでに419人の学部生・大学院生が講座を受講し、分析機器の実学が学べる我が国唯一のJAIMA 協力講座として受講者から大変好評を得ています。今回の包括協定書締結により、JAIMA と早稲田大学は、協力講座に加え、早稲田大学において推進する分析機器利用者向け技術研修プログラム（社会人となって通用する分析機器利用に関する知識及び技量を履修できる研修プログラム）を構築することを目指します。さらに、今後は人材育成・産学連携の推進などの幅広い相互協力を実施して参ります。

また、今回の包括協定書の締結を記念し、幕張メッセで開催される最先端科学・分析システム&ソリューション展「JASIS (Japan Analytical and Scientific Instruments Show) 2024」(2024年9月4日(水)～6日(金))にて記念講演を行う予定です。詳細につきましては、後日、JASIS オフィシャルサイト (<https://www.jasis.jp/>)にてご案内させていただきます。

分析機器は、科学技術・産業技術の発展、安全安心をリードする我が国の社会的技術基盤です。JAIMA と早稲田大学は、この社会的技術基盤の将来の発展や社会課題解決を導く人材の育成に努めて参ります。